



田上町 議会だより

第124号

令和元年 7月26日発行



▲ 湯っ多里館周辺のあじさい

■ 主な内容	6月定例会	P 2
	請願・陳情	P 3
	一般質問（11議員）	P 4～14
	付託案件審査報告	P 15～16
	一部事務組合報告・交流会館等建設調査特別委員会・全員協議会	P 17
	「議員の決意」／編集後記	P 18



4月改選後、初の定例会

- ・ 9月より町の公民館は、交流会館へ移転
- ・ 来年度、防災行政無線運用開始に向け契約締結



議案

【案例制定】

- ・ 田上町交流会館条例の制定

【案例改正】

- ・ 使用料条例の一部改正
- ・ 交流会館使用料を規定
- ・ 田上町公民館条例の一部改正
- ・ 公民館設置場所を変更
- ・ 介護保険条例の一部改正
- ・ 第1号被保険者の保険料引下げ
- ・ 田上町職員に関する条例の一部改正
- ・ 勤務時間、休暇等・特殊勤務手当を改正

【請負契約】

- ・ 下吉田川NO. 3雨水調整池整備工事

【委託契約】

- ・ 同報系防災行政無線整備業務

【令和元年度補正予算】

- ・ 一般会計
- ・ 下水道事業特別会計
- ・ 集落排水事業特別会計
- ・ 国民健康保険特別会計

田上町公民館条例の一部改正では、地元との十分な合意形成がなされていない理由等で反対意見もありました。採決の結果原案可決しました。

全ての議案は原案可決しました。

【報告】

- ・ 専決処分
- ・ 交流会館に関する（建築本体・電気設備・機械設備）工事変更
- ・ 請負契約の報告
- ・ 平成30年度一般会計繰越明許費繰越計算書の報告
- ・ 県央土地開発公社事業計画書及び事業報告書の提出



▲ 田上町交流会館内部

請 願

番 号	件 名	請願者の住所・氏名	紹介議員	審査結果	意見書提出先
請 願 第 2 号	県央基幹病院の早期建設を要請する意見書の提出を求める請願	加茂市下条戊 618-1 加茂・田上地域の医療を 発展させる会 会長 金谷國彦	関根一義	採 択	新潟県知事

陳 情

番 号	件 名	陳 情 者
陳 情 第 7 号	「辺野古新基地建設の即時中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について、国民的議論により、民主主義及び憲法に基づき公正に解決するべきとする意見書の採択を求める陳情」	沖縄県那覇市銘苅 1 丁目 3 番 36 号 ハピネス新都心II 302 号 「新しい提案」実行委員会 安里 長従 他 6 名
陳 情 第 8 号	新潟交通グループに対する適正なる助成金の支出を求める陳情	新潟市秋葉区矢代田 3289 木伏 茂
陳 情 第 9 号	「辺野古新基地建設の即時中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について、国民的議論により、民主主義及び憲法に基づき公正に解決するべきとする意見書の採択を求める陳情」	東京都新宿区四谷二丁目 8 番地 全国青年司法書士協議会 会長 半田 久之
陳 情 第 10 号	日本政府に対して、国連の「沖縄県民は先住民族」勧告の撤回を求める意見書の採択を求める陳情	埼玉県川越市仙波町 2 丁目 17-34 一般社団法人 日本沖縄政策研究フォーラム 理事長 仲村 覚
陳 情 第 11 号	米軍普天間飛行場の辺野古移設を促進する意見書に関する陳情	沖縄県宜野湾市真栄原 2 丁目 15 番 10 号 宜野湾市民の安全な生活を守る会 会長 平安座 唯雄

議 会 か ら の お 知 ら せ

9月定例会について

次の定例会は**9月6日(金)**からの予定です。
 一般質問の日程は通告人数によって決まります。
 議会開催が近くなりましたら、田上町議会 HP で
 ご確認ください。ぜひ傍聴においでください。
 田上町ホームページ <http://www.town.tagami.jp/>
 TOP → 田上町議会 → 議会開催のお知らせ





わたなべ かつえい 渡邊 勝衛 議員

清掃センター今後の計画のタイムスケジュールは

町長：なるべく早い時点で管理者と協議を重ねていきます

町長 清掃センターについて皆様に大変ご心配をおかけしております。この場をお借りしてお詫びを申し上げます。町民の皆様方に情報が流されていないか、点検は否めなかったか、1号炉につきましては、去る1月16日より、消防衛生保育組合が自主的に運転を停止し、全力を挙げて修繕を行ってまいりました。ダイオキシン類が基準値を下回らない限り、1号炉は停止

町民の願いは安全な清掃センターを

問 加茂市・田上町消防衛生保育組合が原ヶ崎新田地内で運営している清掃センターの焼却炉で1号炉が基準の2.6倍を超えるダイオキシン類が検出されました。その後、改修作業にはありましたが、町民からは不安の声が増すばかりです。経過報告を尋ねます。今後の計画についてのタイムスケジュールは、年度内にできるよう管理者と協議をお願いいたします。

町長 空き家も多くなり、近所づき合いも少なくなってきました。今の町の現状かと思えます。今後、安心・安全を考慮した場合に、町の空き家対策が重要になってきます。空き家対策特別措置法は、周辺の生活環境に深刻な影響を及ぼしている空き家のことです。そのまま放置すると著しく保安上危険または衛生上有害となる状態です。適切に管理されていないため、著しく景観を損なっている状態にあると認められる空き家をいっていただきます。市町村は、同法に基づいて立入検査を行い、指導、勧告、

空き家対策の強化を

問 空き家も多くなり、近所づき合いも少なくなってきました。今の町の現状かと思えます。今後、安心・安全を考慮した場合に、町の空き家対策が重要になってきます。空き家対策特別措置法は、周辺の生活環境に深刻な影響を及ぼしている空き家のことです。そのまま放置すると著しく保安上危険または衛生上有害となる状態です。適切に管理されていないため、著しく景観を損なっている状態にあると認められる空き家をいっていただきます。市町村は、同法に基づいて立入検査を行い、指導、勧告、

町民課長 空き家の調査結果につきましては、29年11月に開催しました議員全員協議会において報告しています。区長より情報提供を受けた空き家件数は221件、そのうち特定空き家に該当する空き家はありませんでした。身内と連絡がとれない件数は、正確には把握していません。相続人不在で、今後そのような状況となるおそれのあるケースが1件です。その後、新規のものはその都度確認、調査しています。空き家基準につきましては国のガイドラインに沿って調査しています。危険な空き家については対応を研究します。

教育長

不審者事案では、29年度は2件で30年度は3件です。令和元年度は現在まで0件です。各事案とも児童生徒への注意喚起と保護者への文書やメール配信などの情報提供をしています。小中学校の出入口における監視カメラは補助金対象にはなっていません。防犯カメラ設置はこれから検討します。

安全で暮らしやすい町づくりを

問 最近、全国的に多くの事件、事故が発生しています。安全で暮らしやすい町づくりのため、防犯カメラの設置が必要だと思います。町も検討する時期かと思えます。事件、事故が防犯カメラによって解決又はデータとして参考にされています。防犯カメラ設置に対して新潟県は、今年の4月から補助金を出しています。現状と今後の対応について尋ねます。



こじま けんいち 小嶋 謙一 議員

町のブランド力開発とは何を指しますか

町長：町に眠っている資源、宝を掘り起し、それを磨く力を身に着けることです

田上町ブランド戦略の取り組みについて

問 施政方針の中で町長は、産業の振興・活力あふれるまちづくりにあたって、新たに「田上町ブランド戦略」に取り組むとし、町のブランド力開発を推進するとともに、道の駅が交流拠点となるような空間形成に努めると述べています。私はすぐに取り掛かれる戦略の具体策として、現在指定管理者に委託している施設は、町の知名度とイメージ向上に直結する施設であるにもかかわらず、実態は施設の管理で精一杯の現状を見直すことにより、施設が町にとって有益に活用されることを目的に管理者と協議を重ねるべきであると考えていますので、これに関して質問します。①町長が言われるブランド力開発とは何を指すのか尋ねます。②道の駅を拠点とする空間形成は、例えば公共交通を指すのか、他にどのような考えがあるのか尋ねます。③指定管理者と、委託施設が町

のブランド戦略として有益に活用する目的のもとで、協議していく考えはないか尋ねます。

町長

①ブランド力開発とは、ある特定の商品開発ではなく、田上町全体を考えた場合、他市町村と比べ、きちんとしたポジショニング、強弱、得手不得手等を含め、町のイメージが曖昧なことから、町にはいろいろな資源、宝が眠っています。それを掘り起こす、磨くということが必要で、その力を身につけることが出発点になると考えています。②道の駅が拠点の空間形成には、公共交通のハブステーションとしての拠点性を高めていき、間もなくオープンする交流会館をより多くの人から利用して頂くことも含め、道の駅全体をにぎわいのある施設、空間にしていきたいと思います。③今後、指定管理希望者と具体的な協議を行う中で、ブランド戦略として有効なもの、実現可能なものは取り入れ、町の魅力向上に努めて行きます。



指定管理施設の一つ YOU 遊ランド グレンデのスプリンクラー故障中、管理棟の修繕必要

清掃センターへの取り組みについて

問 ①清掃センターの問題解決には、管理者と施設の実状認識に一致を見なければ事は進みません。町長は新管理者の藤田加茂市長とどのような方針で一致

しているのか尋ねます。②今後の対応は田上町民、加茂市民の理解を得ながら進められなければならず、逐次協議内容や方針を広報等に掲載し知らせるべきです。また、年度内には一定の方針をしめすべきであると思うが、町長の考えを尋ねます。

町長

①清掃センターは建設から39年経過して老朽化しているという点では、管理者の藤田加茂市長とは共通の認識を持っています。6月6日に管理者と清掃センターについて初めて協議の場を設けました。具体的な内容はこれからですが、焼却場施設の新設か、あるいは広域連携による処理が良いのか、判断するための計画策定まず必要であると言え方です。一致しています。これから協議を重ね、問題解決にあたっていく事を確認してまいります。②協議内容や方針等の進捗状況は逐次、町民の皆さまにお知らせしていきます。

ここが 一般質問



池井 豊 議員

「産み育てる自然増の人口増加策」と「Uターン人口増加策」と「移住による社会増の人口増加策」が必要です

町長：田上の魅力をしっかりとPRしていくことが最も大事なトップセールスになるのだろうと思っております

「移住による社会増の人口増加策」移住者数はどれ位いけばベターだと思いますか。移住者数の把握は出来るようになりませんでしたか。また、移住の決め手になりますか。移住は住むところ

町長：田上の魅力をしっかりとPRしていくことが最も大事なトップセールスになるのだろうと思っております。人口問題は、1万人の町を維持するには各年代層100人が必要です。現状40人の出生を70人まで引き上げても30人は移住による人口増加でなければなりません。

改めて人口問題を問う！「移住による人口増加策を」

教育長：ふるさとに帰ってきたくなるような田上愛を醸成する教育については、田上のキャリア教育の一つで「田上の自慢が

町長：Uターン促進のための取り組みとしては、東京都内で開催のふるさと回帰フェアや地方創生プロジェクト移住交流フェアに参加しています。今年度から県が開設する求人情報サイトを通じて、東京圏から移住してこられる方に移住支援金を支給する田上町移住就業支援事業に取り組んでいます。

無ければ完結しません。移住者向け住宅情報は発信出来ませんか。



小野澤 健一 議員

財政のマイナス情報もしっかりと町民に説明を！

町長：他市町村を参考にしたい

財政情報に対する説明責任について

町長：行政運営において財政は生命線であり、その健全性を維持し続けることは、町民に対しての最大の使命です。また、財政の要諦は「入るを量りて出ずるを制す」で、収支計算を行い、収入に見合った支出を行うことが肝要です。

①町財政の課題・問題点、懸案事項は何か、また、その原因は何か。
②町民が知り得なければならぬ財政情報を分かりやすく丁寧に伝える広報活動実施の予定は。

③地方公会計の要約版を「きずな」に載せる予定は。

な」に載せる予定は。

町長：①今後の財政の指標とする「田上町まちづくり財政計画」によれば、財政調整基金の残高は、令和4年度には1億円程度になる見込みであり、あらゆる事業を見直し、財政健全化を進めていくことが財政の課題です。原因としては、歳入面での町税、普通交付税、臨時財政対策債が計約1億1500万円減額。歳出面では道の駅関連は計画通りですが、学校へのエアコン整備を前倒ししたこと、防災行政無線の整備に関連した公債費の増加が見込まれていること等です。

②広報活動については、比較的分かりやすく広報誌に掲載していますが、要望等の解説など他の市町村を参考にしたいと思っております。

町長：教育は盗まれることのない財産、尊い財産です。教育において、知識と体験のバランスは非常に大切です。様々な体験を体系的に整えることで、学びの質の向上は図られます。これらを実現するために地域コーディネーターの配置は良い施策だと思います。



地域コーディネーター2名の配置について

を發揮しなければなりません。そこで教育長に質問します。
①地域コーディネーターに期待する役割と活動内容、実施時期について。
②小中学校3校に対して2名の妥当性とその根拠は。

教育長：①役割は、学校の教職員と地域との橋渡しし、各校の学校運営協議会に参加して情報提供や活動の調整、学校と地域が連携して行う活動や運営協議会についての広報活動の三つです。
②配置人数については、当初は1名でスタートし、今年度は田上地区と羽生田地区に1名ずつ計2名を配置しています。来年度には3校それぞれに配置できればと思っています。

教育分野に留まらず、人材発掘等で産業振興にも役立ちます。田上町には人の数だけの「知恵」と年齢分の「経験」があります。人と人、人と情報、人と資源を適切に結び付けて田上力

町長：「2020東京オリンピック」を活用したまちづくりを！

町長：2020東京オリンピックが近づいてきました。田上町に住む子どもたちや住民にも、なんらかの「オリンピック」が日本で開催されたんだよの記憶を刻んであげたいものです。元オリンピック選手の講演会や勉強会、近隣に事前合宿する選手との交流等、オリンピックをまちづくりに活用してはどうですか。

教育長：オリンピック精神を説明したり、出場の決まった県内選手の努力したエピソードなどを紹介することなどが考えられますが、小中学校と相談して、検討します。



ここが 一般質問



しなだ まさとし 議員
品田 政敏

清掃センターの早期建替えを

町長：加茂市長とともに、スピード感をもって協議していきたい

町長 管理者でもある藤田市長とも施設の新設、広域処理を判断する為の計画の策定は必要ある認識は一致しています。今後もしっかりとスピード感を持って協議していきます。コンポストの購入補助は平成15年、需要の減少から廃止しましたが、水分量の減少を目的とした電動化生ごみ処理機の購入を検討して合わせてコンポストも検討してみたいと思います。

ごみの分別、出し方については加茂市とも歩調を合わせ、広報紙等を通じて周知していきたいと思えます。



▲ 清掃センター

焼却場の修理の経過と現状について

問 直近で田上町民の関心事は清掃センターだと思えます。

1. ごみの分別、軽減化の啓発の必要性。

2. 生ごみ減少の為のコンポストの購入補助。

3. 根本的問題として、だましだましの運転ですので、建替え計画を急いでほしい。

道の駅の構想について

問 2年程前に、道の駅に対する提案をさせて頂きましたが、遅々として進んでいない様です。当時全否定された内容について議員となった立場で、まだ話が出来余地があるか、進捗状況を伺いたい。

町長 2年前の事については、よく分かりませんが、特別委員会で現在も進行中ですので、再度その機会に宜しくお願致します。

2020年、2021年の文科省指導要領改訂のプログラミング教育の取り組みについて

問 当町としても早々に講師を呼んでの出足のよい研鑽、早いものがありました。その後どのような講習会も含めて、どのように進んでいるのか、また今後プログラミングの問題についての考えをお聞かせ願いたい。

教育長 2年前に総務省の事業で専門家を招き、両小学校でプログラミング言語「スクラッチ」をゲーム感覚で身に着ける授業を行いました。今夏には、教職員の内自主研修として専門家を呼び、プログラミング教育の意義と考え方を研修する予定です。2学期は学校の事情に精通している方にスタッフになっていただき、プログラミングに関わる教育課程を編成、実践していただく予定です。



いまい さちよ 議員
今井 幸代

少子化、人口減少対策で最重要なのは、育児と仕事の両立支援

町長：子育て世帯の経済的負担軽減が重要

確実な保育の受皿確保を

問 5月23日、町の事業説明において0、1歳児の受入れが、定員枠の残りは5名分だが、現状では1、2人の受入れしかできない、とのことでした。途中入園希望の大半は、0、1歳児です。定員枠を受入れできない現状は、非常に大きな問題です。過去3年間においても、入園を断ったケースが毎年5件以上発生し、昨年は、入園可能であれば家族そろって移住をしたいとの相談を、受入れができず断ったと現場から聞いています。

町長 女性の就業率を、62.9%から、70%に上げることを目標としています。女性が働くためには、保育の受皿の確実な確保が必要です。町でも様々な子育て世帯への経済的負担軽減策に取り組んでいますが、出生率にこの経済的負担軽減策が、影響を与えていないのではと感じています。少子化や人口減少対策での特効薬はなく、非常に難しい課題です。限られた財源の中で、

多様化する子育てニーズに過度に迎合するのではなく、客観的な根拠を持った合理的施策展開が必要ではないですか。可処分所得や消費支出、家計の黒字率と出生率は、統計上優位な相関は存在せず、女性の就業率と共働き世帯率においては緩やかな正の相関が存在するとのデータがあります。町のやるべきことを、これまでの事業成果と様々なデータ分析を照らし合わせ、見直す時期に来ていると思えます。保育の受皿の確保、育児と仕事の両立支援を柱にしていくべきではないでしょうか。

町長 幼稚園を中心とした子育て支援に対し、町はかなり大きく投資をしてきたと自負をしています。人口減少対策として、育児と就労の両立支援とともに、私は雇用の場の提供と特に子育て世帯の負担軽減対策が重要であると考えています。

特別支援学校に通う子ども達の通学支援を

問 教育基本法第4条では、「国及び地方公共団体は、障害のある者が、その障害の状態に応じ、十分な教育を受けられるよう、教育上必要な支援を講じなければならぬ」とされています。三条市にある月ヶ岡特別支援学校までの通学手段は、保護者の送迎、保護者のマンパワーに依存しており、そのため就労も困難な状況です。合わせて、保護者の体調不良や都合等により送迎できない場合は、やむを得ず欠席をする場合も多々あります。自力通学が困難な特別支援学校に通う児童も、町内学校へ通う児童も、変わらずに学びを享受できる環境整備を進めなければなりません。

通学の安全確保、通学保障、そして保護者の負担軽減の観点から、三条市ではデマンドタクシーとスクールバス、燕市もスクールバス、弥彦村は公用車を利用しての送迎、加茂市はスクールバスの送迎もしくは通学費の補助、などによって生徒の通学支援がされています。町では特別支援学校に通う生徒の通学支援をどのように考えていますか。

教育長 現在、町は月ヶ岡特別支援学校の通学支援は実施していません。今後、現在通学している子どもの保護者、今後入学される可能性のある子どもの保護者の方に聞いて、どれだけのニーズがあるか、そして具体的にどんな要望があるかをまとめ、町としてはどのような支援のあり方がいいのか、どのような支援が可能なのかを研究していきたいと思っています。あわせて、支援が必要なお子様をお持ちの保護者会の設立も視野に入れて考えていきたいと思っています。



まつばら よしひこ 松原 良彦 議員

農業を守るため早急に法人化や生産組合など進めるべし

町長：農業を本気で頑張る人達に支援を致します

町長 9月1日開館予定の田上町交流会館は、新しいまちづくりの拠点、道の駅田上の核となる施設であり、多くの皆様から利用していただくものです。田上町交流会館は公民館の代替施設として整備をしてきたものであり、施設も新しく規模も大きくランニングコストも高く付きます。従来の施設よりも安

問 年間数多く利用する人には、入場券割引やフリーパスなどの還元を交えた各種のポイント的サービスがあってもよいのではないですか。 また二カ月前予約についてももう少し幅を広げた方向が現実的ではないですか。 これまで町のスポーツ少年団では無料で使用していた会場が、有料に変わった理由は何か尋ねます。 スポーツの練習がごなたも毎日、お金の心配なく会場使用出来るよう検討してほしいです。

田上町交流会館使用料金などについて

全で快適な利用ができますので、利用される方にもある程度の負担をお願いいたします。 教育長 現在提案させていた、だいている使用料金でスタートし、今後の利用状況を踏まえた上で、再検討が必要であれば考えていきたいと思えます。 入場券割引やフリーパスなどの提案については、温泉施設のように一人一回幾らの入場料でないため、それは考えていません。 スポーツ少年団の使用料金については、現在公民館や体育館での使用は無料としています。が、従来の施設より安全、快適に利用できることから、ある程度の負担をお願いし、半額減免を適用し、その活動を支援して行きたいと考えています。

町長 町と協議会では、米価安定のための需要に応じた米生産や、米以外の園芸作物の生産拡大などが、所得確保につながることから支援を継続していきま

問 昨年のお米の作柄は、作況指数が96で出荷契約数量、検査実績数量など軒並みダウンしました。 今年の主食米の増量、農家の収入増などについて田上町農業再生協議会（以下「協議会」という。）はどう考えているのか、農業を守るために法人化や生産組合など推し進める方向や手立てなどを尋ねます。

農業を守るために法人化など進めては

産業振興課長 国からの配分はなくなりりましたが、米価の安定のための需要に応じた米生産をしていたために、JAや米を取り扱う業者さんと相談して、町では独自の生産目標目安を作り、各農家組合長さんとも相談したなかで、生産数量を各農家に配分しています。



しばき かずはる 一春 議員

選挙の期日前投票を快適に投票率向上提案

町長：宣誓書の入場券印刷は、選挙管理委員長へ進言する

町長 期日前投票に行かれる割合は約2割を占めています。令和元年5月29日付で総務省の通知もあり、今後入場券への印刷は選挙管理委員長へ進言をしたいと考えます。

問 選挙は多くの方から投票をしてもらいたいものですが、近年は投票率の低下はあっても、期日前投票の割合は増えていきます。 町民の方から「受付時に理由書の様な物を書く事が緊張してしまう」など不便の声を聞きませう。 そこで、投票所の入場券の裏面に、期日前の理由が書けるように印刷して、事前に書いて、投票所に行けるように改善し、町民の方が来やすいように整備をすることが町の姿勢であると考えます。 町長のお考えをお聞かせください。

選挙の期日前投票を快適にする提案

問 施設管理者は、藤田茂市長となりました。町長と共に清掃センターの問題は、重要な施策として位置づけられていますので、新設を含めた計画が進む事を期待します。 しかし、計画の実現にはかなりの年月が必要であり、焼却炉の劣化が激しく、ゴミ処理の負荷を抑えて、焼却炉の延命を考えなければならぬと思います。 ゴミを減らす施策として、 ①分別を徹底して、資源ゴミは燃やさない。 ②持ち込みゴミのチェック体制の見直し。 ③生ゴミは、水分をなくすか、コンポストと、EM菌等で処理し家庭から生ゴミを出さない。 ④紙おむつを燃やさないこと。 使用後の紙おむつは、水分の尿が70%で殆どです。 これらを具体化するための調査や社会実験が必要と思います。町長のお考えをお聞かせください。

「ゴミ減量化に向けた具体的実施の取組



▲ 清掃センター

町長 焼却場の実際の問題解決にはかなりの年数を要することから、今の施設の寿命を伸ばしていくことが必要です。程案も大変有効な取り組みと考えます。管理者とも十分な協議や研究をしていく課題であると考えます。

移転後の田上町公民館はどうする

町長 交流会館に公民館機能が移動した後、田上町公民館は解体し、その土地の利用について検討することになっていますが、近隣の地区よりそのまま利用したい強い要望があります。 私は、町の財産から抹消して、建物を払い下げする、その後は地区の管理とした方がよいと思います。 町長のお考えをお聞かせください。



高橋 秀昌 議員

住民の命を救う県央基幹病院は予定通り建設を

町長：県知事の立場も理解できるが、県に申し入れをする

町長 地域住民の切実な希望と自治体の積極的な要請で建設することになったことを改めて認識しました。

問 加茂・田上地域では救急車は10分以内に患者宅に来るのに、受け入れ病院に搬送するま

問 平成6年10月当選の泉田裕彦県知事は翌年3月に13ある2次医療圏域を6圏域とすると県議会で発表。県央地域が廃止されることになっていましたが、小池前加茂市長が県央首長に呼びかけ県知事に県央医療圏域の存続を訴え、自治体と議会、住民が県に存続を要請しました。この結果、県央医療圏域は存続することになり13医療圏域が7医療圏域となりました。これによって、県央地域に救命救急センター設置の条件が生まれたのです。町長の認識はいかがですか。

花角知事は、県央の命を守る救命救急センター建設計画を反故にするな

問 花角知事は、県財政が厳しいと、ことさら強調しています。財政構造が大きく変わったのではありません。むしろ、花角知事作成の最初予算は、土木費の構成割合が12・7%に引き上げられ、前年

町長 救命救急センター設置が加茂・田上地域の悲願であることとを改めて認識しました。

問 救急車の中で妻が死んだという悲痛な遺族の声。子どもが急病で救急車を呼んだが受け入れ病院が無くて救急車は止まったまま動かない。根本的解決には、救命救急センターの設置が急務の声が広がりに平成18年加茂・田上の医療を発展させる会が当時、県議会議員の金谷國彦会長のもとで結成され、自治体の首長と議会の共同で毎年県に救命救急センターの設置を求め、住民の署名も届けられたのです。

で平成16年当時、平均で40分も要したのです。30年では56分となっています。



▲ 県央基幹病院イメージ (県ホームページより)

町長 財政危機が深刻な状況下では県知事として当然の事です。しかし、持続可能な地域医療体制の確保に最大の努力を要請したいと思えます。

問 新潟市が考える新潟広域都市圏構成市町村にはもちろん田上町も含まれ、日本地方財政学会で中原市長から取組や調査の報告がされました。田上町の公共交通はバス停を設置するタイプと自宅まで迎えるに行くデマンドタイプの両方が必要なのではないかと私は考えています。

町長 今後、改めて検討する必要があります。

問 才歩川以南の公共下水道事業は、100億円もの事業費で20年の事業。年5%の事業増と仮定すると200億円の事業となります。国が50%の補助金を続けると仮定しても年間平均で5億円の町財源の持ち出しです。維持管理費は、現在の公共下水道の年間2億円の町財政の繰出しが5億円の可能性もあり、住民負担も過大です。住民負担も過大で町財政にも過大な負担の公共下水道よりも合併浄化槽事業なら才歩川以南2500世帯で1世帯当たり150万円で38億2500万円の事業。住民負担も少なく、町の維持管理費はほとんどありません。

国土交通省の公共下水道事業よりも環境省の合併浄化槽事業の選択を



中野 和美 議員

学校給食で「乳糖不耐症」や「ライスミルク」について

教育長：「乳糖不耐症」の子供からは牛乳代はいただかない。「ライスミルク」は今後学校給食栄養摂取基準の見直しなどがあれば検討

問 カルシウムとマグネシウムは二対一で摂るのが理想ですが、牛乳には十対一くらいしか含まれていません。血液の状態がアンバランスになることで、イライラしたり、落ち着きを失ったり、将来心筋梗塞などの心臓病になりやすくなります。マグネシウムは骨の材料になるのと同時に、酵素として重要な働きを持ち、不足すると鉄や亜鉛、マンガンの吸収が阻害されることがあるのです。「牛乳貧血」の症状としては、めまいや立ちくらみ、集中力低下、学習能力の低下などが起こります。

「乳糖不耐症」による急激な下痢で体重減少、乳製品に脂肪が多く含まれるため肥満することもあります。

杏林予防医学研究所 所長 山田豊文氏も「コマーシャルなどによって、牛乳を飲まなければカルシウムが摂れないかのような『信仰』を、栄養士も教師も母親たちも持っています。カルシウムを摂るためには牛乳に偏らず、野菜や海藻、豆製品、小魚などの食品を摂るようにし、マグネシウムや鉄、亜鉛などのミネラルもバランスよく摂取することが大切なのです。」とあり、歯科医ではよく聞かれます。牛乳の代用品として「ライスミルク」があります。ビタミンB1、B2、E、カリウム、カルシウム、マグネシウム、葉酸、食物繊維などを含んでいます。給食に「ライスミルク」を代用する可能性はありますか。

学校給食の牛乳について

教育長 「ライスミルク」のよさを十分に理解した上で学校給食にとの観点から、調理に当たり加熱処理する必要があり、提供するために適正な温度、10度以下まで冷蔵する設備や時間が不足しています。学校給食は前日調理が禁止されており、現時点での導入は難しいです。



「乳糖不耐症」とはラクトーゼを作ることができない状態を「乳糖不耐性」といい、もともと乳製品を摂取する習慣のなかったアジア人の7〜9割は先天的に乳糖不耐性です。離乳とともに、酵素活性が低くなります。カルシウムを摂るつもりで飲む牛乳ですが、逆にカルシウムが乳糖と一緒に排泄されてしまうという大きな問題を生じさせるモトになっています。

公共交通ネットワークについて

問 新潟市が考える新潟広域都市圏構成市町村にはもちろん田上町も含まれ、日本地方財政学会で中原市長から取組や調査の報告がされました。田上町の公共交通はバス停を設置するタイプと自宅まで迎えるに行くデマンドタイプの両方が必要なのではないかと私は考えています。



そして、町内の循環のみにとられず、田上駅まで来ている南区のバス、鎌倉新田まで来ている秋葉区のバス、加茂市のバスとの連携も踏まえ、4月よりスタートした「地域公共交通会議」で検討頂きたいと思えます。

町長 新しい公共交通につきましては、幅広い年代の方に利用していただきたいと考えております。運行形態など、協議、決定していく内容が多岐にわたりますが、近隣市町村や県、国と連携しながら、新しい公共交通を構築していきたいと思っております。



藤田 直一 議員

交流会館・護摩堂山の活用で交流人口の増加を

町長：出来ることから対応して行きます

田上町『交流会館』の 運営について

問 令和元年6月28日は田上町交流会館が完成となります。そしてこの施設がオープンすると旧公民館施設は解体をすることで、前町政の下、執行者側と議会は合意を図り、町民説明会を実施しながら道の駅構想は進んできたと思っています。しかしここにきて旧公民館の存続等について色々な意見が出てきておりますが、

①今後どの様に対応していくのか伺います。

②交流会館への来場者は年間2万9500人を予定しており、一日当たり80・8人を想定しています。お客様に来ていただくために町はどのような集客方法で魅力ある施設にしていけるのか伺います。

③旧公民館の年間利用実績は公民館事業で58回、定期団体で1011回、一般利用で141回の合計1210回となっております。公民館間事業と定期団体利用

は無料となっております。新しい施設では有料が基本ですが『使用料が高すぎて利用できない』との不満が出た場合どのように対応していくのか、伺います。

教育長

①田上町公民館については代替施設である交流会館への機能移転を機に閉館することになります。現公民館の今後についての検討会を立ち上げ、結論を早急にまとめたいと思っています。

②各種事業の実施とどのようなイベントが開催可能か研究していきます。

③従来の施設に比べ安全で快適に利用できます。ランニングコースも相当見込まれる事から利用者にはある程度の負担をお願いいたします。

護摩堂山頂上の公衆トイレについて

問 昨年の9月定例会にて護摩堂あじさい園について、「あじさい株の減少、維持管理の悪さが感じられます」と質問しまし

た。新緑の春、あじさい祭り、秋の紅葉と魅力に取りつかれ私も年間を通じて100回は登っております。この田上町の宝の山は昨年以降、従来とは比べ物にならないくらい維持管理体制は良くなったと感じています。又護摩堂山頂上の見晴らしも周囲の雑木の間伐整備により素晴らしい景色が見られるようになりました。町内外の皆さんも喜んでおります。

①もう少し欲を言えば両サイドの雑木を伐採して貰えば100万ドルの景色へと変貌すると思えますがいかがでしょうか。

②周囲の環境が良くなると排せつ環境の見直しも重要なポイントとなります。現在のトイレは築36年が経過しており、汲み取り式で室内は暗く、汚れや臭気がひどく、登ってこられる人達にお聞きすると、余程のことがない限り使用したくないとの事でした。護摩堂山は年間10万〜15万人が訪れる田上町の重要な観光資源です。もっと沢山の人が達から来てもらうためにもトイレ

町長

①加茂方面と新潟方面の伐採については、今後引き続き実施をする予定です。

②山頂トイレをどのようにしていくか、電気水道が無い状況の中で改修は簡単ではないと思いますが、引き続き研究をしていきます。

③ギフチョウの保護については、看板を設置することにより存在に気づき乱獲を促す恐れもあり、現状のままではよいのではと考えています。

総務産経常任委員会付託案件審査

主な議案内容

- ・働き方改革で職員の超勤上限は月 45 時間、田上町は 40 時間で管理
- ・防災行政無線は、全戸に受信機設置を含む 2 億 5300 万円で契約
- ・「地域おこし協力隊」2 名分は地方交付税から 525 万 6000 円

職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正

人事院規則の改正と働き方改革に伴い条例の一部を改正するものです。超勤の上限を月45時間、年間360時間の限度を設け、特別の場合に限り月100時間を超えないこと、災害時などやむを得ない場合は事後に検証を行うことでこの上限を超えて勤務命令を出せるとしています。田上町は平成21年から、月45時間、3か月で120時間の管理を行っています。

職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正

防疫等の作業手当に対し、家畜伝染病予防法第2条に定める伝染病に「その他町長が定める家畜伝染病に限る」の条文が加わり、特殊手当の対象になる伝染病が増えました。

下吉田川No.3雨水調整池整備工事請負契約、同報系防災行政無線整備業務委託契約

2件とも契約金額が5千万円を超えるため議会の議決を求めます。雨水調整池整備工事は、堀内・中大・武田特定共同企業体と1億6335万円で契約しました。防災行政無線整備業務委託は、藤島無線工業株式会社と2億5300万円で契約しました。

なお、防災行政無線設備は、戸別受信機希望の聴き取りを8月から11月にかけて実施し、9月からは、住民への説明を自主防災組織や出前講座で行うとともに、令和2年度末より運用開始の予定です。

Check 議論の身

Q 防災行政無線の戸別受信機は契約の中に含まれていますか。受信機納入時点で単価が下がっていた場合はどうなりますか。

A 戸別受信機は契約の中に含まれ、全世帯分の4200台で契約しています。単価による変更はなく、仮に受信機の設置が4100世帯になれば100台減で契約変更をします。

令和元年度一般会計補正予算(第2号)

歳入歳出の総額から歳入歳出それぞれ418万2000円を減額するもので、主に人事異動に伴う人件費の変動によるものです。歳出の商工費570万6000円の増は、地域おこし協力隊2名の人件費や事務費として、525万6000円が特別交付税で充てられます。また、観光事業の地域資源調査業務を、東京藝術大学に委託する経費の45万円が含まれています。

Check 議論の身

Q 地域おこし協力隊とは？
A 地方自治体が都市住民を受け入れ、委託して一定期間農業や住民の生活支援等の地域協力活

動に従事、当該地域への定住をはかる取り組みで総務省が支援しています。田上町では道の駅の運営にあたってのアドバイスや魅力の発信に係わってもらう中で定住化を図っていきます。活動期間は交付税措置期間の3年間です。

元年度下水道事業特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額に、それぞれ146万9000円を追加するものです。主に人事異動に伴い、人件費に充てるもので一般会計から繰り入れます。

元年度集落排水事業特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ140万4000円を追加するものです。住宅新築に伴う公共汚水桝設置工事の経費で、一般会計から繰り入れます。

いずれも原案可決です。

委員長 小嶋 謙一

社会文教常任委員会付託案件審査

主な議案内容

- ・交流会館が9月オープン、使用料金や使用方法が決定
- ・消費税率引き上げにともない、介護保険料の低所得者への軽減
- ・10月より幼児教育・保育無償化にともなうシステム導入

交流会館条例の制定
使用料条例の一部改正
公民館条例の一部改正

町の公民館の代替施設となる交流会館が9月1日にオープンとなります。公民館の機能を交流会館へ移転し、使用料や減免、予約方法などの詳細を規定したものです。予約は2か月前から受付、1時間当たりの使用料は左記の通りです。
(使用が1時間に満たない場合も1時間とみなします)

多目的ホール	1,500円
ステージ	500円
研修室・控室	300円
研修室2	200円
研修室3	200円
研修室4	200円
中ホール	500円
和室	300円
グランドピアノ	2,000円

Check 議論の身身

Q 公民館条例の一部改正は、事実上の現公民館廃止となり、地元住民の理解を図るための説明会は、議会終了後の7月4日の予定となっている。順番が逆ではないか。

A 町としての説明が十分でなかった部分もあるので、今後しっかりと対応していきたい。
討論(反対)

本来、地元住民への説明や理解を得てから条例提案するべきで、現段階では地域住民の合意を得ていない。今議会での提案は時期尚早として反対する。
討論(賛成)

これまで住民説明会や議会での議論を積み重ね、理解が得られており、賛成する。

介護保険条例の一部改正

10月に実施予定の消費税増税にともない第1号被保険者の保険料を引下げるためのものです。

介護保険料額 (年額)

※令和元年度の軽減は令和2年度の軽減完全実施時の半分の水準です。

段階区分	対象となる方	平成30年度	令和元年度	令和2年度(予定)
		保険料額 (保険料率)	保険料額 (保険料率)	保険料額 (保険料率)
第1段階	・生活保護受給者	32,400円 (基準額×0.45)	27,000円 (基準額×0.375)	21,600円 (基準額×0.3)
	・老齢福祉年金受給者 ・前年の課税年金収入+合計所得金額が80万円以下の方	54,000円 (基準額×0.75)	45,000円 (基準額×0.625)	36,000円 (基準額×0.5)
第2段階	世帯全員が町民税非課税 ・前年の課税年金収入+合計所得金額が80万円超120万円以下の方			
第3段階	・前年の課税年金収入+合計所得金額が120万円超の方			

令和元年度一般会計
補正予算(第2号)

主要なものは4月の人事異動にともなう人件費の増減整理です。他に、主だったものとして、総務費では保明嶋地区の公民館改修に200万円、民生費では町外への老健施設への入所委託金として、157万4千円、10月から予定されている幼児教育・保育料無償化におけるシステム導入に382万6千円などが増額されました。

元年度国民健康保険特別
会計補正予算(第1号)

歳入歳出に27万6千円を追加し、総額13億1927万6千円とするものです。電算システムの改修を行うための補正です。

いずれも原案可決です。

委員長 今井 幸代

加茂市・田上町消防衛生
保育組合

3月定例会

期日 平成31年3月28日

場所 加茂市役所

会議の冒頭の挨拶で管理者から「ダイオキシン問題の説明と失態であるとの謝罪」がありました。

30年度補正予算は清掃センター1号炉の修繕料729万円を追加し、歳入歳出10億432万7千円となりました。

31年度一般会計予算は、清掃センターのバグフィルターろ布取替3千万円を含む、10億2787万8千円となります。

いずれも原案通り、全て可決承認しました。

組合議員

- 川崎 昭夫
- 関根 一義
- 池井 豊
- 浅野 一志

第26回交流会館等建設調査特別委員会

期日 令和元年5月30日

田上町交流会館について

改選を経た新たな議会体制のもとに設置された最初の特別委員会として開催され、5案件について提示資料により、質疑討論がされました。

①田上町交流会館条例、管理方法の考え方について

②田上町交流会館条例(案)について

③田上町交流会館条例施行規則(案)について

④田上町公民館条例について

⑤田上町交流会館オープンまでの日程(案)について

特に、田上町公民館の「閉館に伴う施設の使用方法」について、委員会は住民組織と理解を深め合意形成が必要との判断から、すでに設置が確認されている「跡地利用を考える会」の中で住民組織と検討することが確認されました。

委員長 関根 一義

全員協議会

期日 令和元年6月13日

東京藝術大学と連携した地域資源の掘り起こし

大学連携事業の中で新潟中央短大から「東京藝術大学との連携による地域発展について」提案があり、東京藝大の教員、学生から町にある素材(地域資源としての「石」(大沢石、護摩堂石等)や「粘土」(陣ヶ峰瓦等))を生かした作品を制作してもらい、町内各所に展示、更なる発見(町のブランドづくり)にもつなげたいとの考えです。

大学と町の児童、生徒や生涯学習で活動している方々との協働や交流を進め、地域の魅力再発見、町外から町を訪れてくれるきっかけになることが期待されるものです。

事業期間は3年程度を予定。また、交流会館のオープン、グランドピアノの設置を記念し、大学と中学校吹奏楽部との演奏指導も計画しています。

質疑の中で、大学に丸投げにならないように、事業の最終目標は何かとの質問があり、町に文化を根付かせたいとの答弁がありました。

地域おこし協力隊の隊員を募集

人口減少や高齢化の進行が著しい地方において、地域外の人材を積極的に受け入れ、地域協力活動を行ってもらい、その人材の定住・定着に繋げる目的で「地域おこし協力隊」の制度があります。

町での活動内容は、道の駅「たがみ」の開業に向けた運営支援、桃・梅・竹等を使った新たな特産品の開発、SNS等を活用した情報発信業務などを想定しています。

経費は、人件費、活動費等で年間400万円を上限に全額国が負担し、町の負担はないとされています。

期間は概ね3年、町では9月末までに2人を募集したいとのこと

議長 熊倉 正治

議員の決意



高橋 秀昌 (日本共産党)

住民こそ主人公の町政を目標に発言し提案してまいります。



関根 一義 (創新会代表)

議会の使命は、町民主役の意志的な行政チェックにあります。町政の最大の課題は人口対策です。人口減少に対応した町政を目指します。



池井 豊 (田上クラブ)

田上町を持続可能な町にするには、人口増加策が不可欠です。誇りをもって住める魅力ある地域を創る為に、町の魅力を磨きます。



松原 良彦 (田上クラブ)

- ・少子高齢化、人口減少社会への早急な対応
- ・町民の皆さんが気軽に乗れる巡回バスの運行
- ・安心して暮らせる災害に強い町づくり
- ・農政改革に対応できる、農村の組織づくり



熊倉 正治 (町政クラブ)

「住みたいまち田上」・「住み続けたいまち田上」を目指し、自立し将来に亘って持続可能なまちづくりのために、全力を尽くします。



椿 一春 (町民クラブ代表)

「よりそう」をテーマに、ひとりを大切に、皆が幸せと感じる、住みよい町づくりを目指し全力で取り組んでまいります。守ります！ 約束！



今井 幸代 (田上クラブ代表)

『心をつなぐ、未来を育てる』をモットーに地域の魅力を引き出し、元気で持続可能な町づくりを進めてまいります！



中野 和美 (町民クラブ)

町の様々なテーマに触れるにつき、条例・制度の一つ一つに真摯に向き合い、まちづくりに取組みます。



小嶋 謙一 (町政クラブ代表)

「子どもたちへ残せるまちづくり」に努め、このための施策を提案してまいります。



渡邊 勝衛 (町政クラブ)

安心・安全な“ふるさと”づくりを！豊かな自然の中で、活気あふれる田上町を目指し、未来のために今できること全力で実行します！



藤田 直一 (町民クラブ)

- 【民間経営感覚で町の活性化に取り組みます。】
- 1 民間企業誘致に取り組みます。
 - 2 民間資本を導入し定住化用地の促進に取り組みます。
 - 3 民間資本を導入し工業化用地の促進に取り組みます。



品田 政敏 (無所属)

議会改革なくして田上の将来無し。ハードルの高さを感じているが頑張ります。



小野澤 健一 (無所属)

「なじらね」と興味を引く町政に変え、田上の「ふっとつ」の知恵と「いっぺこと」の経験を拝借し、先入観を「びちゃっ」て、「ばーかいいあんべー」の田上町を叶えます。

編集後記

4月の改選後、初の定例会が6月19日から9日間の日程で開催されました。一般質問には、新任2名を加えた11名の議員が、3日間に渡り、佐野町長に質問しました。3月の定例会に続き、今回も「清掃センター」について多くの議員が質問し、最優先課題となつていきます。一日も早く町民が安心できる施設としなければなりません。町・議員とも切磋琢磨しながら進んでまいります。9月の定例会には多数の皆様から議会の傍聴をいただき、町の現状を知ってもらいたいと思います。(渡邊 記)

広報常任委員会
委員長 中野 和美
副委員長 渡邊 勝衛
委員 今井 幸代
委員 小嶋 謙一
委員 藤田 直一
委員 品田 政敏
委員 小野澤 健一